

保証書

■ 保証規定

1. 保証期間中に正常な使用状態で万一故障が生じた場合には無償で修理いたします。
2. 但し、保証期間中でも次の場合には有料にて申し受けることがあります。
 - A: 不適当な取扱い(電源の逆接など)、又は使用による故障の場合。
 - B: 天災地変による故障の場合。
 - C: 本保証書の必要事項の記入又は、提示のない場合。
 - D: 本保証書は日本国内に限り有効といたします。

品名	ワイドダイナミックマルチカメラ SE-3310
保証期間	お買上げ日より1年間
お買上げ日	
ご需要家族	お名前 ご住所 TEL
販売店名	



ワイドダイナミックマルチカメラ

SE-3310

取扱説明書

WIDE DYNAMIC MULTI CCD CAMERA SYSTEM



株式会社ダイワインダストリ

本社・企画営業本部

東京都大田区池上 3-36-6 〒146-0082 TEL 03-3755-5645 (代) FAX 03-3755-2253

● セキュリティ事業部 : 03-3755-6840 ● サービス部 : 03-3755-5913

DAIWA INDUSTRY CO.,LTD.Foreign trade div. 3-36-6 Ikegami, Ota-ku,TOKYO,

146-0082,JAPAN. Phone:03-3755-5645 Fax:03-3755-2253

E-mail : info@daiwa-industry.co.jp

MADE IN JAPAN 2009.07

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。なお、この使用説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

- ご使用前に、「取り扱い上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保管し、必要などにお読みください。
- この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
- 「警告」「注意」の意味は以下のようになっています。












警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。

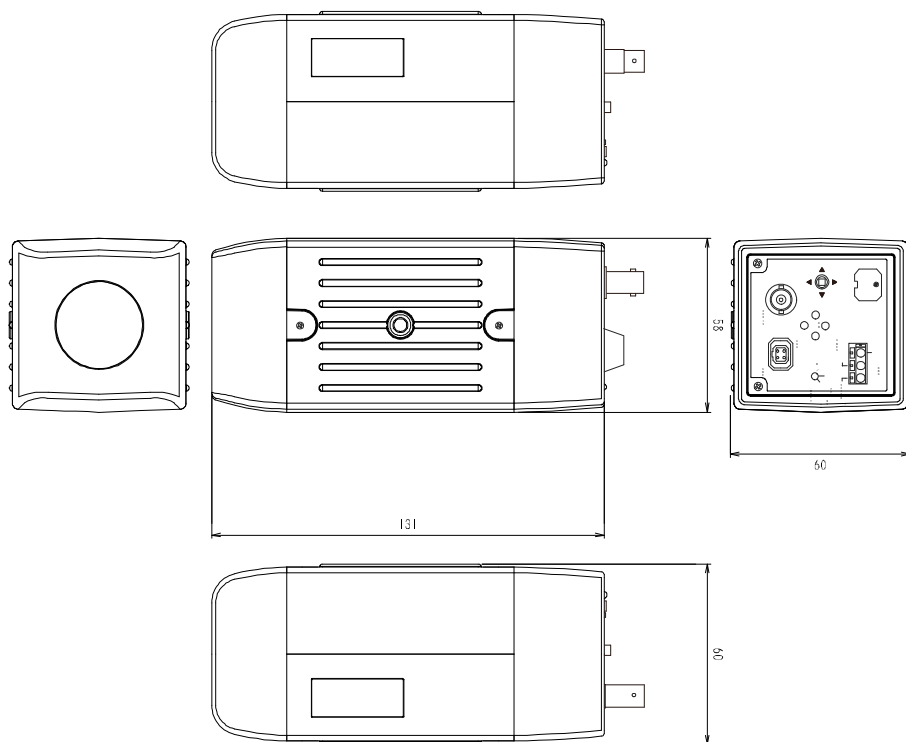


注意

誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う危険および物的損害の発生が想定されるもの。

 警告	
	<p>カバーを開けたり、本体部を分解しないでください。 内部の高温部分や破壊した部分に触れ、火傷やケガの原因となります。</p>
	<p>異物を入れないで下さい。 内部に水などの液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落としたりしないでください。火災の原因となります。電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。</p>
	<p>雨、水、蒸気、ホコリ、油煙、熱気などがかからないようにしてください。 火災の原因となります。</p>
	<p>熱器具などに近付けないでください。 キャビネットが変形したり、内部が高温になり、火災の原因となります。</p>
	<p>直射日光があたらない場所に設置してください。 内部が高温になり、火災の原因となります。</p>
	<p>煙や異臭など発生時は、直ちにケーブル類をはずしてください。 ただちに電源を切り、煙や異臭が出なくなるのを確認し、販売店にご連絡ください。そのまま放置すると、火災の原因となります。</p>
	<p>雷が鳴りはじめたら、本機及び接続ケーブルには触れないで下さい 触れると感電の原因となります。</p>
	<p>設置は販売店に依頼してください。 火災・感電・事故の原因となります。</p>

外形寸法図



⚠ 注意

- ⚠ **各機器の接続は、電源を切ってから行ってください。**
感電・火災の原因になります。
- ⚠ **接続ケーブルはコネクター根元まで確実に差込んでください。**
火災の原因になります。
- ⚠ **持ち運びは、電源やケーブル類をはずして行ってください。**
落下、転倒などでケガの原因になります。
- ⚠ **接続ケーブルは引っぱったり、引っかけたりしないような場所に取り付けてください。**
ケガの原因になります。

もくじ

項目	ページ
はじめに	4
使用上のご注意	4
各部の名称と働き	5
レンズの接続	6
コネクタの配線	6
適用レンズ	6
バックフォーカス調整	7
電源の接続	8
AC 電源	8
DC 電源	8
各種機能の設定	9
設定方法	11
設定操作	12
設定項目	12
モードセレクト(MODE SELECT)	13
露光系機能の設定(EXPOSURE SET.)	14
その他機能の設定(FUNCTION SET.)	16
カメラセットアップ(CAMERA SETUP)	20
レンズ調整(LENS ADJUSTMENT)	20
モードセーブ(MODE SAVE)	21
欠陥補正(BLEMISH COMPENSATION)	21
イニシャライズ(INITIALIZE)	22
仕様	23
保守・点検	24
外形寸法図	25

保守・点検

- 半年に一度はレンズの汚れをふき取って下さい。
- 正常な動作をしない場合、下表に従って点検を行ってください。
点検後、正常に復帰しない場合は、ご販売店までお申し出下さい。

異常状態	考えられる原因	処置方法・対策
映像が出ない	カメラの電源の極性(±)が逆に接続されている。	電源を正しく接続します。 ※本体故障の可能性もあります。
	モニター・電源のスイッチが入っていない	モニターの電源を正しく接続します。
	BNCコネクタ・電源の接触不良	接触不良でないか確認する。 ※本体故障の可能性もあります。
映像が乱れる	電圧が多すぎる。又は少なすぎる。	DC12V±10%以内の電圧に合わせる。
	強いノイズを発生しているものがないか確認する。	ノイズ発生源から離して設置するか、それ自体を移動させる。
映像が暗い	設定が間違っている。	カメラの設定を正しく行なって下さい。
	照度が低い	照度が明るくなるよう、照明等を増やして下さい。
	レンズが汚れている	きれいな布で汚れをふきとります。
映像が明るい	設定が間違っている。	カメラの設定を正しく行なって下さい。
画面がちらつく	カメラが蛍光灯の方を向いている。	カメラの向きを変えて、蛍光灯の映りこみを少なくする。
ピントが合わない	ピントが合っていない。	ピントの微調整を行う。

仕様

機種名	SE-3310	
タイプ	カラー、白黒	
撮像デバイス	1/3"インターライン方式CCD(垂直レジスタ倍密方式)	
テレビジョン方式	NTSC	PAL
総画素数	4.1万画素 811(H) × 508(V)	4.7万画素 795(H) × 596(V)
有効画素数	38万画素 768(H) × 494(V)	4.4万画素 752(H) × 582(V)
水平解像度	520TV 本以上(カラー) 530TV 本以上(白黒)	
同期方式	内部同期	
最低被写体照度	0.5Lux(カラー) 0.05Lux(白黒) 0.01Lux(電子感度 up40 倍カラー) 0.001Lux(電子感度 up40 倍白黒)(全 F1.2 25IRE)	
S/N 比	48dB(AGC off weighting)	
同期モード	内部同期	
レンズマウント	CS マウント(フランジバック調節可能)	
オートアイリスレンズ	DC 電圧駆動レンズ	
オートゲインコントロール	ON/OFF 切替	
オート-trackingホワイトバランス	自動追尾方式	
デイナイト機能	2Lux 以下でカラーから白黒へ切替	
フラッシュ機能	ON/OFF 切替	
D レンジ	Max. 60dB(AE MODE:WD)	
その他機能	ワイドダイナミックレンジ機能 電子感度UP機能 電子ズーム機能(通常露光時のみ)	OSD 機能 WCCB 機能 同期切替機能(INT/AUTO)
電子シャッター	1/60~1/50000	
逆光補正	ON/OFF 切替	
電子感度アップ	ON/OFF 切替	
映像出力	1.0Vp-75Ω	
電源電圧	電源重量(コントローラより)/DC-12V±15%	
消費電流	390mA	
使用温度	-10°C~50°C(0°C40°C:性能保証)	
外形寸法(レンズ除く)	58(W) × 60(V) × 131(D)	
質量(レンズ除く)	420g	
コネクタ	(1) 映像信号出力(BNC, 75 Ohm) (2) オートアイリスレンズ出力(4pin) (3) 電源電圧用コネクタ(3pin) (4) RS485 I/O コネクタ(7pin) ※DAY&NIGHT 用外部制御端子含む	
スイッチ	カメラメニュー用スイッチ RS485 終端 ON/OFF スイッチ	
アクセサリ	取扱説明書、六角レンチ、 AIレンズ用コネクタ、カメラマウントアダプタ	1部

記載されている規格値等は性能を維持向上するため一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。
本機は、ハイエンドなセキュリティを考慮して開発された多機能・高性能なCCDカメラです。
本カメラの特長は以下のとおりです。

- (1)電源重量(ワンケーブル)・DC12V どちらでも接続可能なコンパチブルタイプ
- (2)ワイドダイナミックレンジ機能
本機能は明るい被写体と暗い被写体を同時に表示できます(最大60dBのダイナミックレンジ)。
- (3)デイナイト機能
本機能は昼は高品質なカラー映像、夜は鮮やかな白黒映像で表示することができます。
- (4)電子感度アップ機能
- (5)電子ズーム機能
- (6)オンスクリーン表示機能
- (7)高画質
- (8)スタイリッシュなデザイン

使用上のご注意

<使用・保管場所>

本機は屋内用カメラです。屋外での使用は避けてください。
使用有無にかかわらず、非常に明るい被写体(照明や太陽など)にカメラを向けないでください。また、次のような場所での使用や保管は避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所(使用温度は-10°C~+50°C)
- 湿気やほこりの多い所
- 雨や水のアたる所
- 激しく振動する所
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

<お手入れ>

- キャビネットの汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。ひどい汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭き取った後、からぶきしてください。汚れをふきとるときは、電源プラグを抜いてください。
アルコール、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。表面の仕上げをいためることがあります。
- CCD の表面に触れないで下さい。ほこりが付着している場合は、レンズクリーニングペーパーで拭きとってください。

<その他>

- 撮像素子の特性で画面上に白点が発生することがありますが、故障ではありません。
また、電子感度UP機能(SENS UP)使用時は顕著に白点が発生しますが、異常ではありません。
- 光源によっては実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 高輝度の被写体(ランプなどを撮影したとき、画面上の高輝度の被写体の上下方向に縦縞が発生することがありますが、撮像素子の特性で故障ではありません。

各部の名称と働き

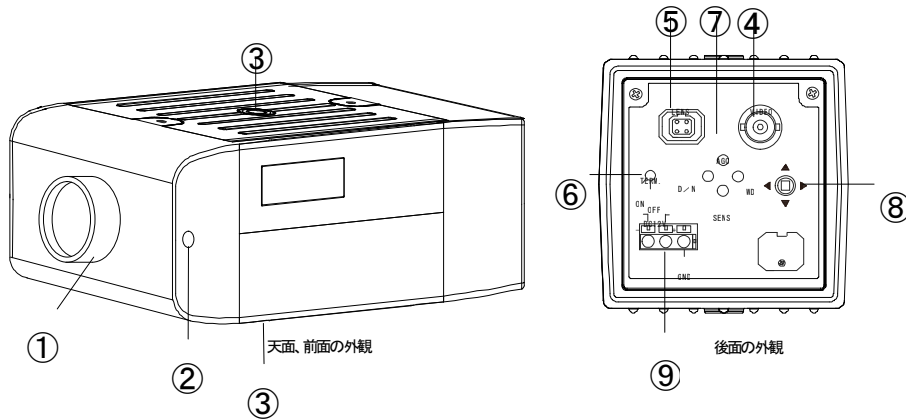


図 1

① レンズマウント

適応するタイプのCSマウントレンズを取り付けます。また、C/CSマウントアダプタを用いることでCマウントレンズでもご使用いただけます。

② バックフォーカス調整部

レンズの取り付け面から結像面までの距離を調整するための六角レンチ挿入部です。調整方法については「[レンズの接続 バックフォーカス調整](#)」の項を参照ください。

③ カメラマウント部

本体の天面・底面のどちらにも取り付けられます。取り付け用ネジは、1/4 インチ 20 山ネジ長のものをご使用ください。

④ 映像出力(電源重量接続時/DC12V接続時) 端子

映像信号の出力端子です。(BNC 型) 電源重量としてご使用の場合は専用カメラコントローラと接続します。

⑤ レンズ端子

オートアイリスレンズ用の 4Pin コネクタです。配線は「[レンズの接続 コネクタの配線](#)」の項を参照ください。

⑥ RS485 終端スイッチ

本機の外部制御端子を介して RS-485 を接続するときに使用します。

ON: 100Ω で終端します。 OFF: 終端しません。

⑦ 機能表示用 LED

本機の状態を表示します。ダイレクトキー機能使用時は点灯し、セットアップメニュー表示中は点滅します。

詳細は「[各種機能の設定 設定方法](#)」の項を参照ください。

⑧ 機能設定用スイッチ

機能操作用のスイッチです。メニューを表示したり、設定を確定させるときに使用します。また、メニュー非表示状態では、ダイレクトキー機能の切換に使用します。

詳細は「[各種機能の設定 設定方法及び設定操作](#)」の項を参照ください。

⑨ 電源入力端子

電源を供給する入力端子です。DC12V が使用できます。*電源重量時には使用しないで下さい。

(8) イニシャライズ (INITIALIZE)

全ての設定を工場出荷時に戻します。

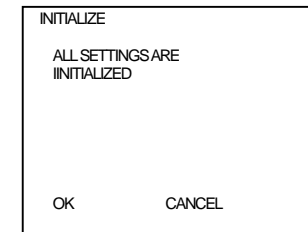


図. INITIALIZE メニュー

操作手順

- カーソルを「INITIALIZE」に合わせスイッチを押し、「INITIALIZE」画面を表示します。
- カーソルを「OK」に合わせスイッチを押すと、イニシャライズが実行されます。
- イニシャライズが終了すると、自動的に「MAIN MENU」に復帰します。

Note) 本項目を実行しても、下記設定はリセットされません。

- 「CAMERA SETUP」メニューの「ADDRESS」「COM SPEED」の設定値
- 「FUNCTION SET.」メニューの「SYNC SELECT」の「PHASE」位相調整値
- 「BLEMISH COMPENSATION」実行後の白キズ補正值

イニシャライズ実行時の設定内容を下記に示します。

EXPOSURE SET.	
AE MODE	→ WD
LEVEL	→ 0
FLICKERLESS	→ OFF
AGC	→ ON
SENS UP	→ 4
DAY&NIGHT	→ AUTO
DETECT TIME	→ 5sec
FILTER LIMIT	→ 10min
RETURN	END

FUNCTION SET.	
SYNC.SELECT	→
WHITE BALANCE	→ AUTO
CROMA	→
*GAMMA	→ NORMAL
*E-ZOOM	→
MASKING	→
TITLE	→
RETURN	END

CAMERA SETUP	
ADDRESS	→ 1
COM SPEED	→ 4800
LED	→ ON
SWITCH	→ ON
RETURN	END

図. 15 INITIALIZE の設定内容

(6) モードセーブ (MODE SAVE)

現在の設定を保存することができます。

保存した設定は「MODE SELECT」の「USER MODE」を選択することで、読み出すことができます。

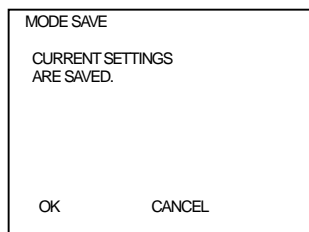


図. 12 MODE SAVE メニュー

操作手順

1. 設定を変更後、カーソルを「MODE SAVE」に合わせスイッチを押し、「MODE SAVE」画面を表示します。
2. カーソルを「OK」に合わせスイッチを押し、設定が保存されます。
3. 保存が終了すると、自動的に「MAIN MENU」に復帰します。

(7) 欠陥補正 (BLEMISH COMPENSATION)

白点を検出及び補正を行います。

本機能をご使用になることで、画品位を保つことができます。

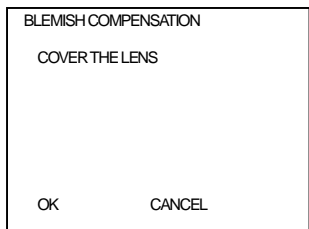


図. 13 BLEMISH COMPENSATION メニュー

操作手順

1. 光が入らないようにレンズをカバーなどで覆います。カーソルを「BLEMISH COMPENSATION」に合わせスイッチを押し、「BLEMISH COMPENSATION」画面を表示します。
2. カーソルを「OK」に合わせスイッチを押し、補正が実行されます。
3. 補正が終了すると、自動的に「MAIN MENU」に復帰します。

Note)

- 本機能を実行しても、完全に白キズが補正できるものではありません。
- SENS UP 機能をご使用時には白キズが顕著に発生しますが、異常ではありません。
- メカアイリス絞りは機構上、完全遮光できません。できるだけ暗い環境で行うか、レンズキャップ等を用いてレンズを遮光してください。

レンズの接続

本機は DC 電圧駆動オートアイリスレンズを使用できます。VIDEO 信号制御レンズはご利用頂けません。

コネクタの配線

コネクタの配線図は表 .1 を参照ください。

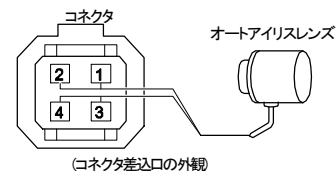


図 2

表 1

コネクタ Pin No.	DC電圧駆動 オートアイリスレンズ
1	CONT. (-)
2	CONT. (+)
3	DRIVE (+)
4	DRIVE (-)

適用レンズ

レンズマウント面からの突起が下記長さ以下のものが使用できます。下記長さを超えると、撮像素子を傷つける可能性があります。

本機は、出荷時 CS マウントタイプレンズにバックフォーカスを合わせています。

C マウントレンズを使用する場合は、C/CS マウントアダプタをご利用ください。

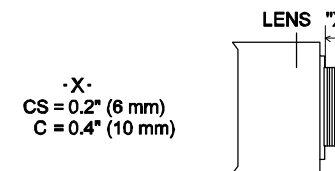


図 3

バックフォーカス調整

本機は出荷時 CS マウントレンズ用にバックフォーカスを調整しておりますが、ご使用になるレンズによっては再度調整が必要な場合があります。下記手順にて再調整してください。

調整には同梱の六角レンチを使用してください。六角レンチの長いほうをカメラの調整部に挿入します。

バックフォーカス調整部を緩め、レンズマウントを調整します。

時計回りに軽く回し、そこからさらに約15° 回してレンズマウントを固定します。

バックフォーカス調整ネジを締めすぎた場合、レンズマウントのネジ山を傷つける恐れがあります。

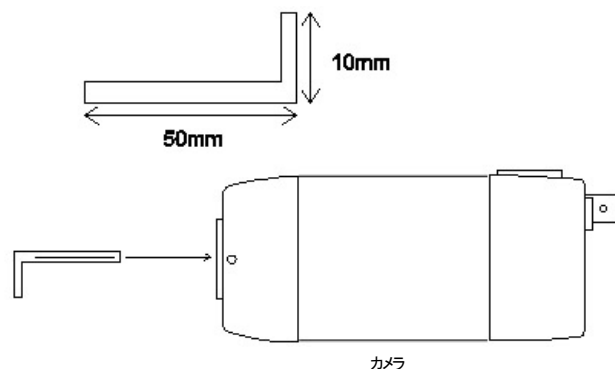


図 4

ズームレンズをご利用の場合:

1. 25m よりも遠い被写体を撮影します。
2. アイリスを開放に設定します。
3. フォーカスをFARIに設定します。
4. ズームを広角側(Wide)に設定します。
5. 六角レンチを使用してバックフォーカス調整部を緩めます。(図 1②) フォーカスが合うようにレンズマウントを調整します。バックフォーカス調整部にてレンズマウントを固定します。
6. ズームを望遠側(Tele)に設定します。
7. フォーカスを調整します。

レンズ調整

本機にレンズを取り付け、ご利用頂く前にレンズ調整を行ってください。

詳細は「設定項目 LENSADJUSTMENT」の項を参照ください。

(4) カメラセットアップ (CAMERA SETUP)

本機は外部制御入力端子(RS-485)を備えており、外部ユニットより各機能の設定を変更することができます。詳細は「外部制御信号端子」の項を参照ください。

本メニューでは、外部制御に関連する設定及び LED、SWITCH の設定を行います。

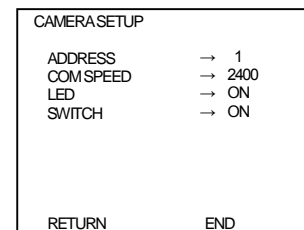


図 10 CAMERA SETUP メニュー

ADDRESS

複数台のカメラをそれぞれ識別するための番号を設定します。最大 30 台まで接続可能です。

Note) 本番号がシステム内で重複すると正しく動作しません。

COM SPEED

外部ユニットとの通信速度を設定します。

2400、4800、9600、19200 が選択できます。

LED

ダイレクトキー使用時における LED 表示の ON/OFF を設定します。

SWITCH

ダイレクトキーの有効/無効設定を行います。

ON: 有効、OFF: 無効

(5) LENS ADJUSTMENT

メカアイリスレンズの調整を行いません。本機を使用する前に、必ず本調整を行ってください。

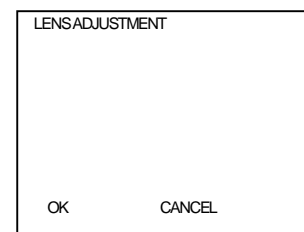


図 11 LENS ADJUSTMENT メニュー

操作手順

1. カーソルを「LENS ADJUSTMENT」に合わせスイッチを押し、「LENS ADJUSTMENT」画面を表示します。
2. カーソルを「OK」に合わせスイッチを押し、調整が実行されます。

このとき、照明によるちらつきのない明るい被写体にて調整を行ってください

3. 調整が終了すると、自動的に「MAIN MENU」に復帰します。

Note) レンズを取り換えた場合は、必ず本調整を行ってください。

- 画面上に矢印が表示されます。この矢印を用いて作成するマスクの位置を決定します。
最初に、作成するマスクの左上に矢印を移動し、その位置をスイッチで確定します。
次に右下に矢印を移動し、位置をスイッチで確定することでマスクが作成されます。

MASK ERASE

作成したマスクを削除します。

削除方法

- 「MASK ERASE」にカーソルを合わせます。
- この状態で、スイッチを押すことによりマスクが削除されます。

Note) 複数のマスクを作成している場合は、作成した順番とは逆にマスクが削除されます。

(3-7) TITLE

文字を作成し、画面上に表示する設定を行います。

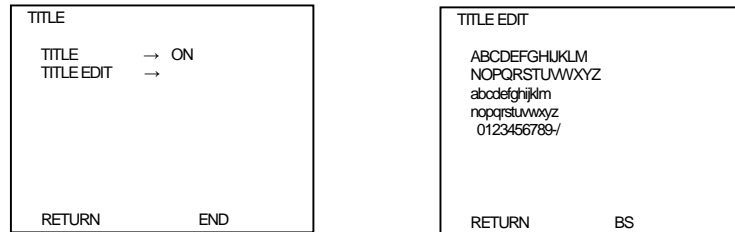


図. 9-7 TITLE メニュー

TITLE

表示文字の ON/OFF を設定します。

TITLE EDIT

表示文字の編集を行います。最大 16 文字まで表示できます。

作成方法

- 「TITLE」を「ON」に設定します。
- カーソルを「TITLE EDIT」に合わせスイッチを押し、「TITLE EDIT」画面を表示します。
- 表示したい文字にカーソルを合わせスイッチを押し、選択した文字が編集エリアに表示されます。
- 編集が終了するまで上記内容を繰り返します。
- 文字を消去する場合は、カーソルを「BS」に合わせスイッチを押すことで一文字ずつ消去されます。

接続

本機は電源重畳配線(ワンケーブル)とDC12Vのどちらの方式でも使用できます。



警告 : 本機に電源ケーブルを接続時、電源ケーブルが短絡しないように気をつけてください。

電源重畳の接続

専用コントローラーCCUシリーズで必ずご使用ください。それ以外の接続は故障の原因となりますのでおやめ下さい。

電源重畳配線をする時はDC電源(DC12V)には電源を接続しないで下さい。故障の原因となります。



注意 同軸コネクタとケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
同軸ケーブルの芯線と網線とは触れていないことを確認してください。
もし芯線と網線が触れていると電極がショートして故障しますのでご注意ください。

配線距離

ワンケーブルユニット(CCUCシリーズ)の背面スイッチにより異なります

スイッチ: SHORT側 3C-2V:最大100m、5C-2V:最大200m

スイッチ: LONG側 3C-2V:最大200m、5C-2V:最大500m

DC電源の接続 ※電源重畳接続の場合は接続しないで下さい。

DC12V (10.2 - 13.8 VDC) でご利用ください。電源の接続は図. 6を参照ください。

ヒューズが必要な場合は、電源端子 10cm 以内(+端子側) にスローブロー型のヒューズを挿入してください。



注意 電源の極性に注意してください。
電源は本機 1 台につき 390mA の消費電流の供給能力が必要です。
電源コードを選択・接続の際は、下記内容に注意してください。

- ①電源コードの許容電流
- ②電源コードのサイズや長さによるケーブル損失

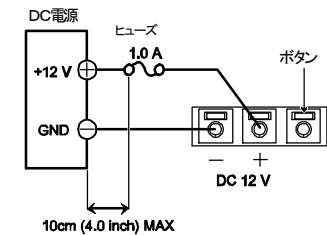
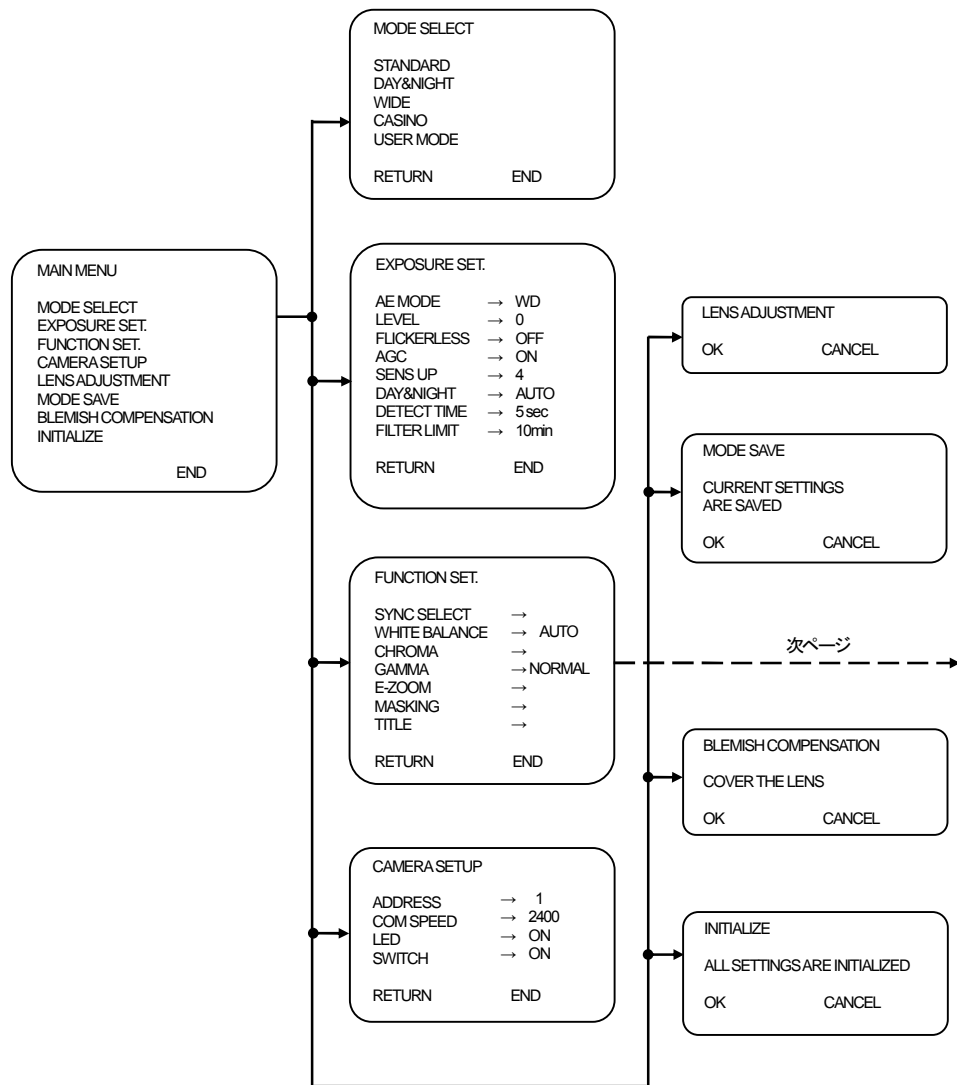


図. 6

各種機能の設定

本機はOSD(オンスクリーン表示)機能を搭載し、モニタ画面にてカメラの各機能を設定できます。設定メニューの一覧は下記の通りです。



(3-5) E-ZOOM

本機は、電子ズーム、電子パン/チルト機能を備えています。本メニューではこれらの機能に関する設定を行います。

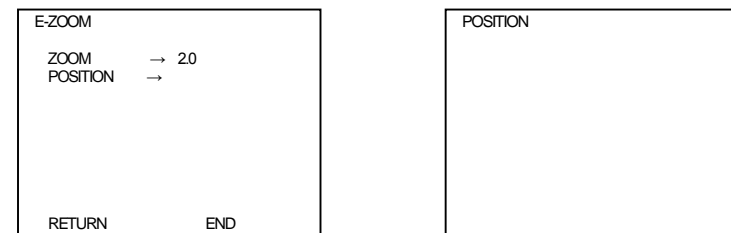


図. 9-5 E-ZOOM メニュー

ZOOM

ズーム倍率の設定を行います。

OFF、1.5、2.0、2.5

Note) 本項目設定時に、「MASKING」及び「AE MODE」の「WD」は使用できません。

POSITION

ズーム時のフレーム位置を設定します。ズーム倍率を設定したときのみ設定可能です。

調整方法

1. 「ZOOM」を 1.5 倍以上に設定します。
 2. カーソルを「POSITION」に合わせスイッチを押し、「POSITION」画面を表示します。
 3. 「POSITION」画面上にて、スイッチを上下左右に入れることで、フレーム位置を変更できます。
- Note) チルト機能はズーム倍率により制限があります。フルチルト可能な倍率は 1.5 までとなります。

(3-6) MASKING

画面のマスク設定を行います。

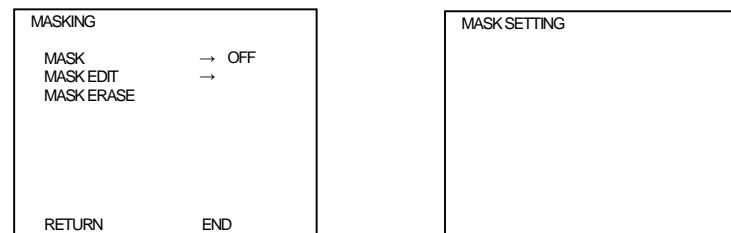


図. 9-6 MASKING メニュー

MASK

MASK 表示の ON/OFF を設定します。

MASK EDIT

作成するマスクの編集を行います。全体で8個まで設定可能です。

作成方法

1. 「MASK」を「ON」に設定します。
2. カーソルを「MASK EDIT」に合わせスイッチを押し、「MASK SETTING」画面を表示します。

(3-2) WHITE BALANCE

WHITE BALANCE

ホワイトバランスのモードを選択できます。

AUTO : 自動でホワイトバランスの調整を行いません。

HOLD : 本モードに変更する直前のゲインを保持します。下記の設定方法を参照ください。

「HOLD」モードにて保持されたゲイン値は他のモードに切り換えると失われます。

設定方法

1. 被写体を映した状態で、「WHITE BALANCE」を「AUTO」に設定します。

2. 「WHITE BALANCE」を「AUTO⇒HOLD」に切換えます。

この手順でホワイトバランスのゲインが保持されます。

INDOOR : 固定ゲインで動作します。(約2800K 相当)

OUTDOOR : 固定ゲインで動作します。(約6000K 相当)

(3-3) CHROMA

クロマ信号のゲイン及び色相を調整できます。

CHROMA	
RY GAIN	→ -1
BY GAIN	→ -2
RY HUE	→ 1
BY HUE	→ 1
RETURN	END

図. 9-4 CHROMA メニュー

RY GAIN

クロマ信号のゲインを調節することができます。調整範囲 -5 ~ 5

BY GAIN

クロマ信号のゲインを調整することができます。調整範囲 -5 ~ 5

RY HUE

クロマ信号の色相を調整することができます。調整範囲 -5 ~ 5

BY HUE

クロマ信号の色相を調整することができます。調整範囲 -5 ~ 5

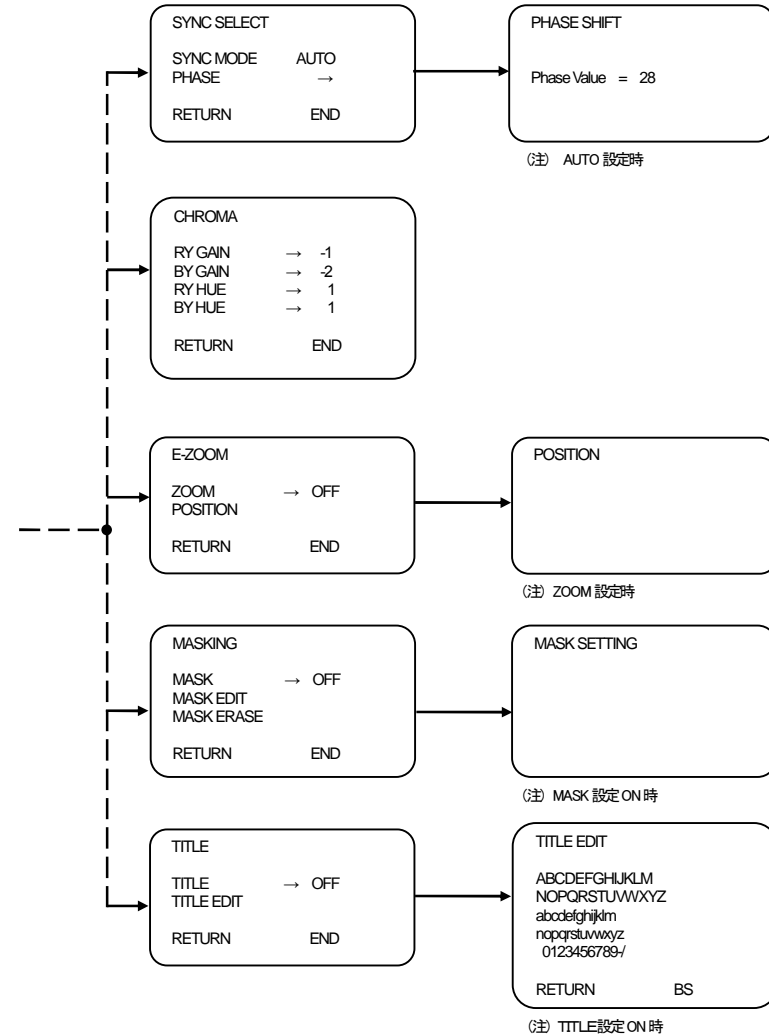
(3-4) GAMMA

GAMMA

ガンマを選択できます。

NORMAL(約0.6)、SCENE1(約0.45)、SCENE2(約1.0)

Note) 「AE MODE」を「WD」設定時には選択できません。



設定方法

本機は多くの機能を備えており、撮影場所の条件に合わせて各種機能を設定することができます。

カメラの機能を設定する方法は2つあります。

- (1) OSD を用いメニュー上で設定する
- (2) ダイレクトキー機能を使用する

本機はダイレクトキー機能を備えており、通常時(メニュー非表示)に機能設定用スイッチ(図 1 ⑧)を用いて下記4つの機能を直接操作することができます。

各々の機能が ON 設定時、対応する LED が点灯し、動作中であることを表示します。(図 7-1,7-3)

以下の機能が設定できます。(リアパネルに表示されている機能)

- ① AGC: ON/OFF
- ② DAY & NIGHT: ON(AUTO)/OFF(Color) (ON 設定時は、AGC も自動的に ON に設定されます)
- ③ SENS: ON/OFF
- ④ WD: ON(WD)/OFF(NORMAL)

以下の説明において用いられるスイッチは図 1 ⑧を示す。

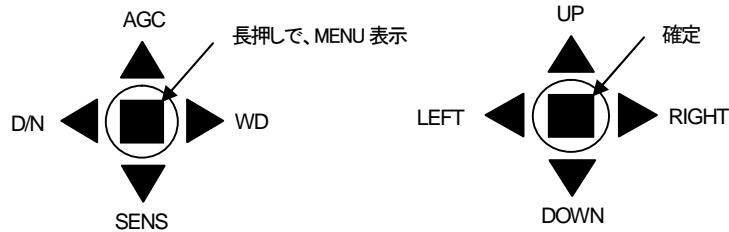


図 7-1 通常時のスイッチ設定

図 7-2 メニュー時のスイッチ設定

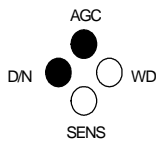


図 7-3 通常時の LED

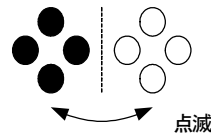


図 7-4 メニュー時の LED

(3) その他機能の設定 (FUNCTION SET.)

露光系以外の各機能を設定するメニューです。

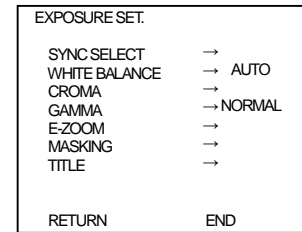


図 9-1 FUNCTION SET. メニュー

(3-1) SYNC SELECT

同期の設定を行います。

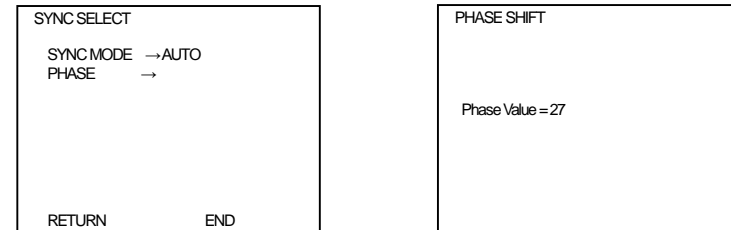


図 9-2 SYNC SELECT メニュー

SYNC MODE

同期方式を選択できます。

AUTO : AC 電源時は LineLock で動作し、DC 電源時は Internal で動作します。

INT : 常に Internal で動作します。

PHASE

LineLock 動作時の垂直同期位相を調整することができます。

調整方法

1. 「SYNC MODE」を「AUTO」に設定します。
2. カーソルを「PHASE」に合わせスイッチを押し、「PHASE SHIFT」画面を表示します。
3. 「PHASE SHIFT」画面上にて、スイッチを上下に入れることで、垂直同期位相を調整できます。図 9-3 参照

Note) 本機は出荷時に各機とも同じ値に調整されています。基本的に、調整する必要はありません。

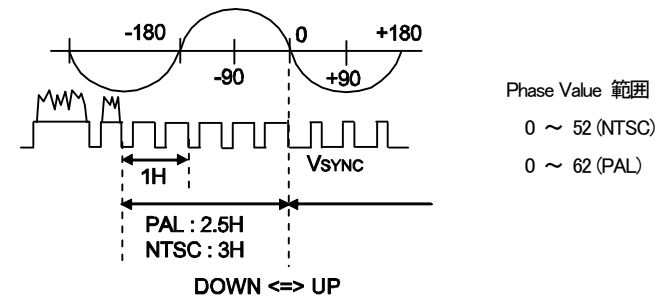


図 9-3 PHASE SHIFT

Phase Value 範囲

0 ~ 52 (NTSC)

0 ~ 62 (PAL)

DAY & NIGHT

カラー/白黒の切換に関する設定を行います。

AUTO : 露光レベルに応じて自動的にOLPFの切換を行います。

COLOR : カラーモードに固定。

BW : 白黒モードに固定。

EXT : 外部制御信号によりモードの切換を行います。詳細は「外部制御信号端子」の項を参照ください。

Note)

- 「AGC」を「OFF」に設定時は、「DAY&NIGHT」を「AUTO」「EXT」に設定することはできません。
- 「DAY&NIGHT」を「AUTO」に設定時、「AGC」を「OFF」に設定すると強制的に「COLOR または BW」に設定されます。
- 「AUTO」設定時、被写体の明るさに応じて自動的にモードの切換を行うことができますが、照明の条件や画角によって切り換わらないことがあります。
- 夜間に近赤外線的光源を使用した場合、ハンチングが発生する可能性があります。本機はこの問題の対策として、ハンチング発生時にフィルタを停止する機能を備えています。「FILTER LIMIT」の項にて停止時間を設定してご使用ください。より確実な切換を行うためには、外部入力によりモードの切換を行う「EXT」でご使用いただくことをお勧めします。

DETECT TIME (「DAY&NIGHT」を「AUTO」「EXT」設定時に使用します)

DAY & NIGHT の検出時間を設定できます。

明るさのレベル変化が本項目で設定した時間以上持続すると、モードが切り換わります。

5sec, 30sec

FILTER LIMIT (「DAY&NIGHT」を「AUTO」「EXT」設定時に使用します)

DAY & NIGHT 動作中にハンチングが発生した場合のフィルタ停止時間を設定します。

OFF, 10min, 30min

Note) 本機能が動作中は「FILTER LIMIT」の前に*が表示されます。

設定操作

本機はOSD機能を備えています。メニューで設定を変更するには次のように操作します。

1. スイッチを約2秒間押しつづけます。リアパネルのスイッチを使用します。(図. 1⑧)
2. 図. 7-5に示すような設定画面が表示されます。
3. スイッチを用いカーソルを変更したい項目に合わせます。選択したメニューが表示されます。(図. 1⑧のスイッチは図7-2に示すように方向キーとして使用できます)
4. 変更したい項目の設定値を調整します。
5. 設定を終了する場合は、「END」にカーソルを合わせ、スイッチを押します。前項目に戻るには、「RETURN」にカーソルを合わせ、スイッチを押します。

メニュー表示中は、リアパネルのLEDが点滅します。(図. 7-4)

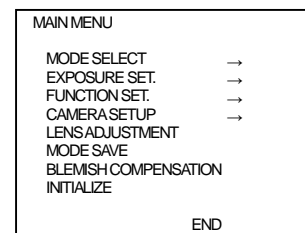


図. 7-5 MAIN MENU

Note)

- 1分間メニューを操作しない場合は、自動的にメニューが消えます。
- 各項目の設定は「RETURN」及び「END」を確定した時点でセーブされます。
- 機能の設定により制限が発生する項目には*が表示されます。

設定項目

(1)モードセレクト (MODE SELECT)

各モードを選択することでプリセットされた設定でカメラを動作させることができます。

ユーザーで決定した設定を登録(USER MODE)することも可能です。

「USER MODE」の設定手順は「MODE SAVE」の項を参照ください。

以下のモードを選択できます。

STANDARD
DAY&NIGHT
WIDE
CASINO
USER MODE

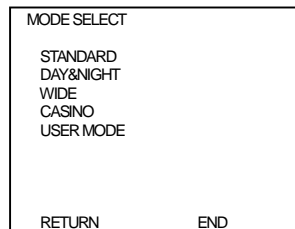


図. 7-6 MODE SELCET メニュー

各モードの設定内容は下記の通りです。

STANDARD

EXPOSURE SET.	
AE MODE	→ NORMAL
LEVEL	→ 0
FLICKERLESS	→ OFF
AGC	→ ON
SENS UP	→ 4
DAY&NIGHT	→ COLOR
DETECT TIME	→ 5sec
FILTER LIMIT	→ OFF
RETURN	END

FUNCTION SET.	
SYNC SELECT	→ AUTO
WHITE BALANCE	→ AUTO
CROMA	→
GAMMA	→ NORMAL
E-ZOOM	→
MASKING	→
TITLE	→
RETURN	END

図. 7-7 STANDARD 設定内容

DAY&NIGHT

EXPOSURE SET.	
AE MODE	→ NORMAL
LEVEL	→ 0
FLICKERLESS	→ OFF
AGC	→ ON
SENS UP	→ OFF
DAY&NIGHT	→ AUTO
DETECT TIME	→ 5sec
FILTER LIMIT	→ 10min
RETURN	END

FUNCTION SET.	
SYNC SELECT	→ AUTO
WHITE BALANCE	→ AUTO
CROMA	→
GAMMA	→ NORMAL
E-ZOOM	→
MASKING	→
TITLE	→
RETURN	END

図. 7-8 DAY&NIGHT 設定内容

WIDE

EXPOSURE SET.	
AE MODE	→ WD
LEVEL	→ 0
FLICKERLESS	→ OFF
AGC	→ ON
SENS UP	→ 4
DAY&NIGHT	→ COLOR
DETECT TIME	→ 5sec
FILTER LIMIT	→ OFF
RETURN	END

FUNCTION SET.	
SYNC SELECT	→ AUTO
WHITE BALANCE	→ AUTO
CROMA	→
GAMMA	→
E-ZOOM	→
MASKING	→
TITLE	→
RETURN	END

図. 7-9 WIDE 設定内容

CASINO

EXPOSURE SET.	
AE MODE	→ NORMAL
LEVEL	→ 0
FLICKERLESS	→ OFF
AGC	→ ON
SENS UP	→ 4
DAY&NIGHT	→ COLOR
DETECT TIME	→ 5sec
FILTER LIMIT	→ OFF
RETURN	END

FUNCTION SET.	
SYNC SELECT	→ INT
WHITE BALANCE	→ INDOOR
CROMA	→
GAMMA	→ SCENE1
E-ZOOM	→
MASKING	→
TITLE	→
RETURN	END

図. 7-10 CASINO 設定内容

(2) 露光系機能の設定 (EXPOSURE SET.)

カメラの露光系の調整を行なうメニューです。AE MODE の設定により 2 通りのメニュー構成となります。

A. 「MANUAL」以外の「AE MODE」設定時

EXPOSURE SET.	
AE MODE	→ WD
LEVEL	→ 0
FLICKERLESS	→ OFF
AGC	→ ON
SENS UP	→ 4
DAY&NIGHT	→ AUTO
DETECT TIME	→ 5sec
FILTER LIMIT	→ 10min
RETURN	END

B. 「AE MODE」を「MANUAL」設定時

EXPOSURE SET.	
AE MODE	→ MANUAL
LEVEL	→ 0
SHUTTER SPEED	→ 1/60
AGC	→ ON
SENS UP	→ OFF
DAY&NIGHT	→ AUTO
DETECT TIME	→ 5sec
FILTER LIMIT	→ 10min
RETURN	END

図. 8-1 EXPOSURE SET. メニュー

AE MODE

露光モードの設定を行います。

WD → NORMAL → BLC → MANUAL の順にてモードを変更できます。

WD : Wide Dynamic Range 機能が動作します。

屋内/屋外の被写体が混在するような照度差のある被写体を撮像する場合などに使用します。

本項目選択時、「E-ZOOM」は設定できません。

NORMAL : メカアイリスと電子シャッターによる露光制御を行います。

BLC : 逆光補正機能が動作します。

逆光状態でも屋内の被写体を最適な明るさに調整し、見やすくします。

MANUAL : シャッタースピードをマニュアル設定できます。「SHUTTER SPEED」にて設定します。

LEVEL

輝度の収束レベルの調整ができます。設定値 : -5 ~ 5

Note) 「BLC」以外の「AE MODE」で調整可能です。

FLICKERLESS

「AE MODE」が「MANUAL」以外の設定時、フリッカーレス機能の ON/OFF を設定できます。

ON 選択時、シャッタースピードは 1/100s (NTSC)、1/120s (PAL) に固定されます。

SHUTTER SPEED

「AE MODE」を「MANUAL」選択時、シャッタースピードを設定できます。

設定値 : 1/60(NTSC)、1/50(PAL)、1/100(NTSC)、1/120(PAL)、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000、1/20000、1/50000

AGC

被写体の明るさに応じて、ゲインを自動調整します。AGC 機能の ON/OFF を選択できます。

SENS UP

蓄積時間を数フィールドにわたって行うことにより露光量を調整します。下記値から選択します。

設定値 : OFF、2、4、6、8、10、20、40

Note) 「AE MODE」を「MANUAL」に選択時、本項目は設定できません。自動的に OFF に設定されます。

「SENS UP」の倍率を上げると、画面がざらついたり、白っぽくなったり、白点が現れる場合がありますが、異常ではありません。